

しおがま・まちの駅イベント支援

住所	宮城県塩釜市海岸通5-6	資本金	370万円
代表者	塩釜市商業協同組合 理事長 高橋 章	組合員数	140名
創業年	平成2年6月29日	売上高	185万円(平成26年10月月間)
業種	事業協同組合		
TEL	022-367-9651	URL	http://shiogamachinoeki.main.jp/

事業概要(被災前)

- ・平成22年9月26日、特産品販売や情報発進を目的として「まちの駅」オープン(塩釜市本町の文化・商業複合施設「壱番館」1階) 全国ネットワークの認定を受けた県内第1号で、市民や観光客の交流、憩いの場として期待
- ・「まちの駅」周辺には、物販店舗等20店、寿司、日本料理、フランス料理等飲食店10店、理美容業3店、サービス業、金融業 学習塾、歯科クリニック等の44社構成の商店街あり

被災概要

- ・「まちの駅」オープンから約半年後、東日本大震災の津波被災により複合商業施設とその周辺街区は壊滅状態。
- ・「しおがま・まちの駅」は震災から約半年間の休業後、本塩釜駅ロータリーそばに移転し、再オープン(平成26年9月28日)。



被災直後の本塩釜駅周辺の様子



再オープンを果たした新店舗

復興に向けた状況や課題

- 再オープン後、
- ・時間の経過とともに、顧客の塩釜市外への移転が多くなり、来街者の減少が目立つ。
- ・店舗数の減少、業種の隔たり等(組合員数は震災前の3分の1)により、顧客ニーズを満たせない状況。

以上から、売上利益が思わしくなく、抜本的な改革を行い、再度、販売計画等を策定する必要あり。



支援テーマと内容

1. 経営全般について
集客目標、年間販売促進計画、展示会への出店計画等の策定。
2. にぎわい創出を目的としたイベントについて
マスコミや行政機関などのPRを積極的に活用、年間イベントカレンダーの策定、予算確保等 実行計画と進捗確認の手法について指導。
3. 商品開発について
塩釜独自の魅力ある商品のパッケージ支援。
年間ニーズに即したお中元、お歳暮等のセット商品開発・販売促進。

支援の成果



歳末セールを目玉商品である「まちの駅セット」の試作

しおがま・まちの駅の店内の様子



しおがま・まちの駅セットの販促チラシ



サマーセールのチラシ、スタンプ用紙

支援の成果

- ・春のさくらスタンプ祭の開催 (H 27.3.1 ~ 3.8 の一週間)
- ・サマーセール2割増し商品券発行記念スタンプラリー (H 27.7.12 ~ 8.10 の約1ヶ月間)
- ・まちの駅セットのパッケージデザイン完成



累計販売数170セット

(常温セット、ひらきほっけ、おさしみわかめ、おさしみぎばさ、塩竈の藻塩、いわしの炙り焼き、海藻練そば)

【イベント、商品開発の結果】

	H26売上額	H27売上額(対前年同月比)
6月	89万円 →	99万円(11%増)
7月	154万円 →	186万円(21%増)(サマーセール開催)

事業者からのコメント

年間イベント計画を作成し、計画通り実施したことで、今年度は対前年比で売上げを大幅に伸ばすことが出来ました。震災以降、人口減少が止まらない等、周辺環境は依然厳しい状況ですが、これまでの支援を通して、にぎわいのある商店街を維持するためには、塩釜産の魅力ある新商品の充実やイベント、催事を数多く開催することが重要であるということをおぼろげに認識しました。

今年の3月には仙石線が全線開通し、遠方からより多くの来客が期待できますし、市単独ではなく周辺地域の商店街と広域的に連携することで、にぎわいの相乗効果を模索していきたいと思っております。

塩釜市商業協同組合
副理事長 佐浦俊一郎 氏



今後の事業展開

1. より魅力的な商品を増やす
→ 出展者会議を開き、仕入れ事業者からの商品提案を求める。
→ 他県、他市長村コーナーを設ける。
2. 塩釜市、塩釜商工会議所と連携
→ ふるさと名物応援事業(プレミアム商品券発行)の交付金の活用を含め、通年を通してイベント、催事を強化。
3. 3周年記念イベント
→ 塩釜魚市場どっと祭との相乗効果を狙い、食品、水産、観光部門に分け開催。
4. 見本市等の他機関のイベントに参加
→ 様々な知見、アイデアを獲得。

震災復興支援アドバイザーからのコメント

同施設においては、震災後、再オープンを果たしましたが、売上が思うように上がらず、苦戦されておりました。イベント開催についてのご提案や、セット販売等のプロモーション面についてのアドバイスを頂き、実行していただく事で、最近では上昇基調へと上向く事が出来ました。

今後は商品構成の魅力度の向上、地域限定商品券の発行等を通じて、更なる収益の向上を試み、震災前以上の事業展開をしていかれる事と思っております。

今後でもできる限りの支援をさせていただきます。

共々に復興に向かって頑張りましょう！

震災復興支援アドバイザー
中小企業診断士 渡辺進也

